

千歳市からのおねがい

車道や歩道への雪だしはやめましょう



除雪前に、施設帯や民地の雪を道路に出すと、除雪する雪の量が多くなり、交差点の雪山が高くなるなど、まわりの方の迷惑になります。また、除雪後の雪だしは道路が凹凸になり車や歩行者の通行の妨げになりますので絶対にやめましょう。

路上駐車はやめましょう



路上に車が駐車されていると、除雪することができず作業を中断するため、除雪時間が長くなります。自分1人くらいという気持ちがあまわりの迷惑となりますので、路上駐車は絶対にやめましょう。

間口の雪処理にご協力をおねがいします

大型の機械で除雪を行うため、各家庭の出入り口やゴミステーションには、雪が残ってしまいます。市民のみなさんのご協力をお願いします。



施設帯の雪の堆積にご理解とご協力をお願いします

生活道路の施設帯は、道路の雪を堆積する場所です。



ワークショップ便りに関するお問い合わせ先

➡ 千歳市役所建設部道路管理課 TEL: 24-0406 (直通)

除雪に関する情報

<https://www.city.chitose.lg.jp/docs/95-66338-165-868.html>

千歳市のホームページから「**除雪情報**」で検索



千歳

除雪に関する

白樺町内会版

2019年号

発行: 令和元年 12月

作成: 千歳市 道路管理課

ワークショップ便り

「除雪地域懇談会」を開催しました！



懇談会の目的は？

地域のみなさんや除雪業者、市が協力し合い、より良い冬の生活環境を目指すため、ワークショップ形式により話し合いを行い、地域における「除排雪の課題」や「新しい提案」を基に除雪マップを作成し、今後の除雪作業の参考にすることを目的としています。

どんな内容の懇談会になったの？

千歳市の気象状況や除雪体制、除雪方法を基に、各町内会の地図に、実際に生活する上での地域の問題点や良かった点を話し合い、それらの情報を地図にまとめました。

懇談会の結果をどう活用するの？

作成した除雪マップを地域のみなさん、除雪業者、市の三者で情報共有するとともに、今後の除雪作業の参考とすることで、地域における生活環境の向上を目指します。なお、除雪マップについては、除雪従事者の交代に伴う引継ぎの際などに利用していきます。



「千歳市 除雪地域懇談会」

開催日時: 令和元年 5月24日(金)
18時30分 ~ 20時30分

会場: 泉沢向陽台コミュニティセンター

出席者: 地域の皆さん 30名
千歳市職員 10名
千歳市環境整備事業協同組合 3名
除雪ブロック担当責任者 1名

1 ワークショップとは
いろいろな立場、考え方の人がひとつの作業の共通体験を通じて意見を交換し、その意見を「共有する、認める、理解する」ことを通じて、問題や課題への対応の方向性を見出す「体験・参加型」の会議などのことをいいます。

できあがった除雪マップは裏面へ
(裏面の地図を参照) ➡

白樺町内会 除雪マップ

凡 例

- 交差点の雪山
- その他
- 堆雪、雪山
- 公園
- バス路線
- 通学路



- 町内会のみなさんからみた良い点
- 町内会のみなさんからの意見
- 町内会のみなさんからの提案

町内会館付近の除雪

町内会館付近の除雪をしてほしい

高齢化問題

高齢者や独居のところは手厚く除雪してほしい

子供の目線で通学路をもっと手厚く対応してほしい

排雪を生活道路でもやってほしい

朝起きたら雪が家の前に置いて行かれるので、配慮してほしい

施設帯の除雪

敷設帯を歩道だと思っているため、きれいに除雪してしまう人がいる

通学路がツルツルになっている

融雪剤をまく回数が増えたらよい

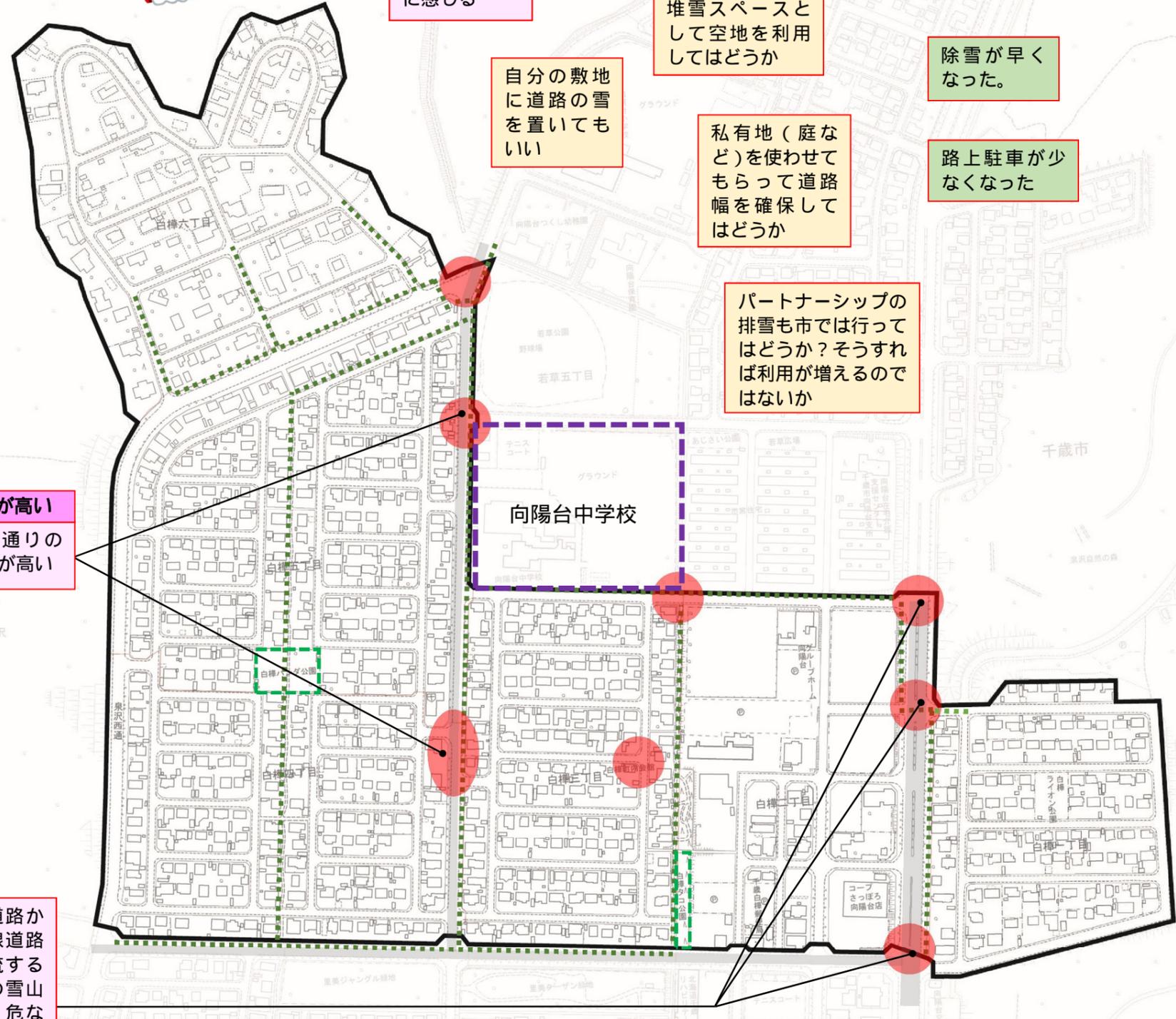
生活道路も融雪剤をまいてほしい

雪が多い時は道路が狭く、4m確保できていない

全部ロードヒーティングにしてはどうか。

雪山が高い
バス通りの雪山が高い

生活道路から幹線道路に合流する場所の雪山が高く危ない



白樺町内会の重要課題

- 町内会館付近や独身居住者・高齢者のところを手厚く除雪してほしい。
- 公園や空き地を雪置き場にするなど、有効活用してほしい。
- バス通りの交差点などの雪山が高い。

今後の千歳市の取り組み

- 町内会館付近や高齢者がお住まいになられている箇所などの除雪につきましては、パートナーシップ除雪排雪支援制度を活用するなど、地域のみなさんと市が協力し、雪対策を行える除雪体制を構築していきます。
- 空き地の活用など、雪の堆積場所の確保・活用に関する提案については、引き続き、関係者と調整を進めてまいります。
- 交差点の雪山が高くなっている箇所などのご意見につきましては、ワークショップ後に除雪業者と打合せを行い、今冬から特に注視すべき箇所として、情報の共有を図りました。

いただいたご意見や提案を参考に、今後も地域力を活かした雪対策を進め、冬季における生活環境の向上に取り組んでいきます。